

2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社  
コード番号 2904

上場取引所 東  
URL <https://www.ichimasa.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）野崎 正博

問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員（氏名）高島 正樹（TEL）025-270-7111  
コーポレート事業統括本部長

半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	19,587	2.8	852	△16.7	836	△23.3	606	△36.4
2025年6月期中間期	19,053	1.1	1,023	10.7	1,090	16.3	953	36.0

（注）包括利益 2026年6月期中間期 640百万円（△21.1%） 2025年6月期中間期 811百万円（5.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	33.11	—
2025年6月期中間期	51.87	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	34,942	15,304	43.6
2025年6月期	30,413	14,908	48.8

（参考）自己資本 2026年6月期中間期 15,232百万円 2025年6月期 14,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年6月期	—	0.00			
2026年6月期（予想）			—	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	4.7	1,100	23.4	1,150	26.8	750	0.4	40.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更  
新規 社（社名） : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期中間期	18,590,000株	2025年6月期	18,590,000株
2026年6月期中間期	264,788株	2025年6月期	281,988株
2026年6月期中間期	18,312,926株	2025年6月期中間期	18,386,512株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2026年6月期中間期199,700株、2025年6月期216,900株）が含まれています。また、期中平均株式数（中間期）の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2026年6月期中間期211,986株、2025年6月期中間期138,400株）を含めています。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年7月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの動き、インバウンド消費の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しています。一方で、原材料や資材価格の高止まりに加え、エネルギー価格の上昇や円安の進行、米国の関税政策強化や長期化する世界的な地政学リスクの高まりなど、外部環境の不透明感が続いています。

食品業界は、価格改定や商品規格の見直しが継続されるなか、物価上昇の長期化に伴い消費者の節約志向や生活防衛意識は一層強まっており、需要の動向を見極めながらの事業運営が求められるなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”(2045年度のありたい姿)を目指し、2021年7月から2026年6月までの第二次中期経営計画の最終年を迎え、“国内外のマーケットへの果敢なチャレンジを通じ、事業の成長力・収益力基盤を確立し、ファーストステージ「成長軌道への5年」を確実に実現する。”を基本方針として経営課題に取り組んでいます。また、地球環境の維持は企業活動の持続的な成長・発展のためには不可欠であり、「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協働しながらサステナブルな課題の解決に取り組んでいます。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は195億87百万円(前年同期比5億34百万円(2.8%)の増加)、営業利益は8億52百万円(前年同期比1億70百万円(16.7%)の減少)、経常利益は8億36百万円(前年同期比2億53百万円(23.3%)の減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億6百万円(前年同期比3億47百万円(36.4%)の減少)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

#### ①水産練製品・惣菜事業

売上は、2025年3月1日納品分より実施した価格改定により販売価格が上昇したことに加え、スティックタイプのカニかまやはんぺんの販売数量が伸長したほか、消費者ニーズを捉えた保存性・利便性に優れた商品の販売も堅調に推移したため、前年同期を上回りました。また、おせち商品については前年同期水準の売上となりました。

利益は、生産性向上や継続的なコスト削減に努めましたが、主原料であるすり身をはじめとする原材料費や労務費の上昇による影響が大きく、前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は173億9百万円(前年同期比3億88百万円(2.3%)の増加)、セグメント利益(営業利益)は8億5百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)10億20百万円)となりました。

#### ②きのこ事業

売上は、平年に比べ野菜相場が高値で推移した影響を受け、まいたけを含むきのこ市場全体の価格も堅調に推移し、販売価格が前年同期を上回りました。一方、販売数量については、秋口以降の暖かい気候が続いた影響でやや鈍化したものの、前年同期以上の水準を維持しました。

利益は、人件費・原材料価格およびエネルギー価格など製造コストが上昇する一方で、包装部門の合理化・省人化や生産効率の向上によるコスト削減を進めた結果、損失幅は縮小し、前年同期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は21億3百万円(前年同期比1億57百万円(8.1%)の増加)、セグメント損失(営業損失)は25百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)88百万円)となりました。

#### ③運送・倉庫事業

運送部門は、営業を強化して自社定期便の新規輸送を獲得したこと、並びに標準運賃の改定に取り組んだことが奏功し、売上・利益ともに前年同期を上回りました。

倉庫部門は、新規入庫案件の獲得に向けた営業を強化しましたが、食品関連業界におけるコスト上昇や需給調整の影響を受け、平均在庫量が減少した一方で保管回転率の低下が収益に影響を及ぼしました。その結果、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1億75百万円(前年同期比11百万円(6.2%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は68百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)88百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は349億42百万円(前連結会計年度末比45億29百万円の増加)となりました。これは主に商品及び製品並びに仕掛品の減少及び有形固定資産の償却の進行の一方、季節的要因による売掛金の増加及びすり身価格上昇に伴う原材料及び貯蔵品の増加によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は196億37百万円(前連結会計年度末比41億33百万円の増加)となりました。これは主に季節的要因による買掛金及び短期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は153億4百万円(前連結会計年度末比3億96百万円の増加)となりました。これは主に配当金の支払いの一方、親会社株主に帰属する中間純利益の計上によるものです。なお、自己資本比率は、主に季節的要因による売掛金などの増加により総資産が増加したため、前連結会計年度末の48.8%から43.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の連結業績予想については、2025年8月8日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,100,387	1,464,573
売掛金	3,411,459	7,430,356
商品及び製品	903,936	811,995
仕掛品	607,120	428,224
原材料及び貯蔵品	2,624,374	3,245,230
その他	306,789	297,500
貸倒引当金	△1,759	△2,171
流動資産合計	8,952,309	13,675,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,173,835	7,037,217
機械装置及び運搬具(純額)	6,072,345	5,973,388
工具、器具及び備品(純額)	238,746	236,880
土地	3,575,253	3,602,230
リース資産(純額)	1,568,264	1,488,702
建設仮勘定	176,651	296,482
有形固定資産合計	18,805,096	18,634,902
無形固定資産		
のれん	113,490	103,423
その他	295,937	281,091
無形固定資産合計	409,428	384,514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833,066	1,855,104
繰延税金資産	88,234	88,314
その他	349,393	328,335
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	2,246,194	2,247,253
固定資産合計	21,460,718	21,266,671
資産合計	30,413,028	34,942,380
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,998,573	3,002,444
短期借入金	2,807,915	5,281,739
未払法人税等	140,325	370,889
賞与引当金	84,658	85,811
役員賞与引当金	27,915	—
未払金及び未払費用	1,974,890	2,400,012
その他	644,223	617,886
流動負債合計	7,678,501	11,758,783
固定負債		
長期借入金	5,527,659	5,655,593
リース債務	1,441,214	1,363,145
役員退職慰労引当金	43,825	45,200
役員株式給付引当金	110,995	108,129
繰延税金負債	368,276	379,511
その他	334,286	327,554
固定負債合計	7,826,257	7,879,133
負債合計	15,504,758	19,637,917

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	12,442,035	12,788,978
自己株式	△208,803	△193,530
株主資本合計	13,823,231	14,185,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040,354	1,062,757
為替換算調整勘定	△35,483	△15,298
その他の包括利益累計額合計	1,004,870	1,047,459
非支配株主持分	80,168	71,555
純資産合計	14,908,270	15,304,462
負債純資産合計	30,413,028	34,942,380

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,053,350	19,587,696
売上原価	14,839,492	15,619,148
売上総利益	4,213,857	3,968,548
販売費及び一般管理費	3,190,095	3,115,692
営業利益	1,023,762	852,855
営業外収益		
受取利息	15	857
受取配当金	16,469	18,540
受取賃貸料	6,136	3,866
受取手数料	20,469	17,790
売電収入	10,436	8,191
貸倒引当金戻入額	39,419	—
雑収入	16,021	14,025
営業外収益合計	108,969	63,271
営業外費用		
支払利息	32,066	60,564
持分法による投資損失	8,693	—
支払手数料	—	9,300
雑損失	1,722	9,804
営業外費用合計	42,483	79,668
経常利益	1,090,248	836,458
特別利益		
投資有価証券売却益	118,915	75,827
段階取得に係る差益	126,523	—
特別利益合計	245,439	75,827
特別損失		
固定資産除却損	3,088	931
特別損失合計	3,088	931
税金等調整前中間純利益	1,332,600	911,354
法人税、住民税及び事業税	271,166	322,795
法人税等調整額	107,748	△3,176
法人税等合計	378,915	319,618
中間純利益	953,684	591,735
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	△14,556
親会社株主に帰属する中間純利益	953,684	606,292

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純利益	953,684	591,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,882	22,403
為替換算調整勘定	—	26,110
持分法適用会社に対する持分相当額	△50,679	—
その他の包括利益合計	△142,562	48,514
中間包括利益	811,122	640,250
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	811,122	648,863
非支配株主に係る中間包括利益	—	△8,613

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,332,600	911,354
減価償却費	881,669	922,393
のれん償却額	—	12,407
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39,061	412
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,011	1,153
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△475	1,375
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△15,441	12,471
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,668	△27,915
受取利息及び受取配当金	△16,485	△19,397
支払利息	32,066	60,564
為替差損益(△は益)	—	2,327
持分法による投資損益(△は益)	8,693	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△118,915	△75,827
固定資産除却損	3,088	931
段階取得に係る差益	△126,523	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,602,727	△4,154,879
棚卸資産の増減額(△は増加)	△405,700	△345,333
仕入債務の増減額(△は減少)	1,167,018	1,139,475
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	220,033	593,096
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	164,955
その他	△248,526	40,359
小計	△953,344	△760,075
法人税等の支払額	△195,269	△102,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,148,613	△862,989
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	800	△672
有形固定資産の取得による支出	△1,523,257	△1,051,990
無形固定資産の取得による支出	△20,004	△1,080
投資有価証券の取得による支出	△79	△82
投資有価証券の売却及び償還による収入	135,450	86,850
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△178,116	—
利息及び配当金の受取額	16,485	19,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,568,721	△947,579
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,200,000	2,100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,142,406	△1,232,026
社債の償還による支出	△50,000	—
利息の支払額	△31,780	△58,547
配当金の支払額	△222,298	△259,348
その他	△54,978	△84,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	698,536	2,165,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,674	8,643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,020,473	363,512
現金及び現金同等物の期首残高	3,183,952	1,061,820
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,163,479	1,425,333

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,920,778	1,945,656	186,914	19,053,350	—	19,053,350
外部顧客への売上高	16,920,778	1,945,656	186,914	19,053,350	—	19,053,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	326,748	326,748	△326,748	—
計	16,920,778	1,945,656	513,663	19,380,098	△326,748	19,053,350
セグメント利益又は損失(△)	1,020,710	△88,260	88,101	1,020,551	3,210	1,023,762

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額3,210千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	運送・倉庫 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	17,309,193	2,103,247	175,255	19,587,696	—	19,587,696
外部顧客への売上高	17,309,193	2,103,247	175,255	19,587,696	—	19,587,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	328,175	328,175	△328,175	—
計	17,309,193	2,103,247	503,431	19,915,872	△328,175	19,587,696
セグメント利益又は損失(△)	805,236	△25,317	68,502	848,421	4,433	852,855

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額4,433千円は、主にセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「その他」に含まれていた「運送・倉庫事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の区分から、「水産練製品・惣菜事業」及び「きのこ事業」、「運送・倉庫事業」の3区分に変更しています。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。